

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問調査）

1 調査結果の概要

児童質問調査

【全国値より+5ポイント以上の項目】

- ☐自分には、良いところがあると思いますか…95.0(+8.1)
- ☐先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか…100(+7.8)
- ☐友だち関係に満足していますか…98.3(+6.6)
- ☐5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICTをどの程度使用しましたか…88.1(+16.4)
- ☐国語の勉強は好きですか…66.1(+7.8)
- ☐理科の勉強は好きですか…86.4(+6.3)
- ☐理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか…89.9(+10.0)
- ☐5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか…91.5(+11.2)
- ☐5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか…83.0(+14.4)
- ☐学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか…91.5(+6.6)

【全国値より-5ポイント以上の項目】

- ☐新聞を読んでいますか…0.0(-10.5)

生徒質問調査

【全国値より+5ポイント以上の項目】

- ☐朝食を毎日食べていますか…97.8(+6.6)
- ☐毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか…95.5(+14.5)
- ☐学校に行くのは楽しいと思いますか…93.3(+7.2)
- ☐地域や社会のために何かしてみたいと思いますか…88.9(+13.6)
- ☐2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICTをどの程度使用しましたか…97.8(+21.3)
- ☐総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか…93.4(+13.9)
- ☐国語の勉強は好きですか…64.5(+6.6)
- ☐国語の授業の内容は分かりますか…88.9(+11.9)

【全国値より+5 ポイント以上の項目】…中学校続き

☐理科の勉強は得意ですか…62.2(+6.5)

☐理科の授業の内容はよく分かりますか…77.8(+6.4)

☐学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか…97.8(+13.1)

【全国値より-5 ポイント以上の項目】

☐数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか…68.9(-6.3)

2 九重町の児童・生徒質問調査の調査結果をふまえて

【重点的取組事項】

- ・家庭学習の質・量・時間をブラッシュアップ（家庭との連携）
- ・授業におけるＩＣＴの使用は推進されつつあるが、効果的な活用について指導助言を実施

【全校で取り組むこと】

- ・小学校「算数」、中学校「数学」の愛好度を向上させるため、「分かった」「できた」を実感できる授業づくり＝「協調学習」による対話に基づく学びの積み重ね
- ・基本的な生活習慣及び学習習慣の確立
- ・教科の学びと社会のつながりを意識した視点を授業に位置付け（キャリア教育との連動）

【その他、特徴的なこと】

- ・ここのえ学園基本計画に位置づく、総合的な学習の時間を活用した「ここのえ学」は、小学校から中学校へ系統的に学びをつないでいる。友だちとの話し合いや、資料を用いた発表に関する数値が良好なのは、これらの学びとその他教科をつないだ取組の成果であると捉える。

【調査の項目について】

- ・質問項目にある、「新聞を読んでいますか」については、学校図書館における「新聞の活用」については必要であると考えるが、新聞を購定期読していない家庭が増えている中で、本項目の調査の目的が何なのか不明である。

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問調査）

1 調査結果の概要

小学校：学校質問調査

- ☐ 就学援助を受けている児童の割合が高い
- ☐ キャリア教育の充実が不十分
- ☐ 悩みを抱える教員への支援体制が不十分
- ☐ 授業における計画的な学習活動の提供が不十分
- ☐ 指導方法の工夫改善に積極的に取り組んでいると認識している学校が少ない
- ☐ 各調査項目については、肯定的な回答が多いが、最高評価の割合が低い

中学校：学校質問調査

- ☐ 就学援助を受けている生徒の割合が高い
- ☐ 近視予防や読書・ICT 器機の使用への配慮が不十分
- ☐ 数学の授業において、観察や操作や実験等の体験的な学習機下の提供が不十分
- ☐ 生徒の自主性を尊重した学習活動の提供が不十分
- ☐ 個別最適な学びを実現するための学習課題や活動の工夫が不十分
- ☐ ICT 器機の活用について、生徒の回答と差が生じている

2 九重町の学校質問調査の結果をふまえて

【今後の取組】

- ・ 研修体制の見直し
 - ➡ 既存の集合研修の充実に加え、指導主事による学校訪問研修の機会を増やす
 - ➡ 全員参加の研修会において、重点事項の周知徹底を図る
- ・ ICT の効果的な活用を推進
 - ➡ ICT 支援員による授業支援及び活用研修の充実を図る
 - ➡ ICT 支援員の配置時間を増やし、個別の困りや悩みに対応する
- ・ 学校における指導力向上について
 - ➡ 若年教職員に対する支援体制の構築、学校での OJT の充実のための支援を行う
 - ➡ 県・事務所・町の重点方針等について、共通理解を徹底し組織的な授業改善を推進する

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：国語）

1 調査結果の分析

小学校：国語

教科の正答率が全国平均正答率と比較して、－2.8ポイントであった。

また、正答率は全ての領域においても全国平均正答率を下回っている。

なかでも、「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」が－3ポイント以上となった。

正答数度数分布によると、正答数5問の割合が全国・県の平均よりも高く、正答数9問の割合が全国・県よりも低いことから、中間層が少なく、低学力層が多い傾向が分かる。

問題総数に占める無解答数の割合が、4.1%となっており、令和4年度調査以降で最も高い。

2 具体的な改善方策

小学校：国語

各学校における課題分析に基づく検証改善に向け、以下の指導支援を行う。

- ☐ ここのえ学園基本計画に基づく「学習のきまり」・「生活のきまり」の徹底を各種研修において周知
- ☐ 学習に課題を抱える児童の「個別の指導計画」や「学習状況個人カルテ」の作成と活用
- ☐ ICT（AIドリル）等を活用した個に応じた指導
- ☐ 「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の課題克服のため、本町が推進している協調学習による授業改善に向け、指導主事を派遣しての授業づくり支援を全ての学校において実施

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：算数）

1 調査結果の分析

小学校：算数

教科の正答率が全国平均正答率と比較して、－9.0ポイントであった。

また、正答率は全ての領域においても全国平均正答率を下回っている。

なかでも、「数と計算」・「測定」・「データの活用」が－8ポイント以上となった。

正答数度数分布によると、全国平均正答数以下の、8問以下の割合が非常に高く、12問以上の割合が低いことから、算数においては低学力層の児童が非常に多いことが分かる。

問題総数に占める無解答数の割合が、5.7%となっており、平成30年度調査以降で最も高い。

2 具体的な改善方策

小学校：算数

各学校における課題分析に基づく検証改善に向け、以下の指導支援を行う。

- ☐ ここのえ学園基本計画に基づく「学習のきまり」・「生活のきまり」の徹底を各種研修において周知
- ☐ 学習に課題を抱える児童の「個別の指導計画」や「学習状況個人カルテ」の作成と活用
- ☐ ICT（AIドリル）等を活用した個に応じた指導
- ☐ 教科の課題克服のため、本町が推進している協調学習による授業改善に向け、指導主事を派遣しての授業づくり支援を全ての学校において実施
- ☐ 課題克服のため、家庭と連携した「家庭学習」の在り方について、指導助言を実施

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：理科）

1 調査結果の分析

小学校：理科

教科の正答率が全国平均正答率と比較して、－4.1ポイントであった。

また、正答率は全ての領域においても全国平均正答率を下回っている。

なかでも、「粒子を柱とする領域」及び「地球を柱とする領域」が－6ポイント以上となった。

正答数度数分布によると、正答数6問以下の割合が全国・県の平均よりも高く、低学力層が多い傾向が分かる。

問題総数に占める無解答数の割合が、3.4%となっており、平成30年度調査以降で最も高い。

2 具体的な改善方策

小学校：理科

各学校における課題分析に基づく検証改善に向け、以下の指導支援を行う。

- ☐ ここのえ学園基本計画に基づく「学習のきまり」・「生活のきまり」の徹底を各種研修において周知
- ☐ 学習に課題を抱える児童の「個別の指導計画」や「学習状況個人カルテ」の作成と活用
- ☐ ICT（AIドリル）等を活用した個に応じた指導
- ☐ 教科の課題克服のため、本町が推進している協調学習による授業改善に向け、指導主事を派遣しての授業づくり支援を全ての学校において実施

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 調査結果の分析

中学校：国語

教科の正答率が全国平均正答率と比較して、+7.7ポイントであった。
また、正答率は全ての領域においても全国平均正答率を上回っている。
なかでも、「書くこと」が+11.3ポイント、「話すこと・聞くこと」が+8.7ポイントとなった。
正答数度数分布によると、正答数8問以上の割合が全国・県の平均よりも高く、中間層以上の生徒が多い傾向が分かる。しかしながら、正答数2問の生徒も5%近くいる。
問題総数に占める無解答数の割合が、3.7%となっており、全国・県よりも低い。

2 具体的な改善方策

中学校：国語

教科の結果は良好ではあるが、課題分析に基づく検証改善に向け、以下の指導支援を行う。

- ☐ ここのえ学園基本計画に基づく「学習のきまり」・「生活のきまり」の徹底を各種研修において周知
- ☐ 学習に課題を抱える生徒（特に平均正答数以下の生徒）の「個別の指導計画」や「学習状況個人カルテ」の作成と活用
- ☐ ICT（AIドリル）等を活用した個に応じた指導による低学力層の底上げ
- ☐ 本町が推進している協調学習による授業改善に向け、指導主事を派遣しての授業づくり支援を全ての教科で実施

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：数学）

1 調査結果の分析

中学校：数学

教科の正答率が全国平均正答率と比較して、+9.7ポイントであった。
また、正答率は全ての領域においても全国平均正答率を上回っている。
なかでも、「関数」が+10.1ポイント、「データの活用」が+16.4ポイントとなった。
正答数度数分布によると、正答数7問以上の割合が全国・県の平均よりも高く、中間層以上の生徒が多い傾向が分かる。しかしながら、正答数3問以下の生徒も一定数いる。
問題総数に占める無解答数の割合が、3.9%となっており、全国・県よりも低い。

2 具体的な改善方策

中学校：数学

教科の結果は良好ではあるが、課題分析に基づく検証改善に向け、以下の指導支援を行う。

- ☐ ここのえ学園基本計画に基づく「学習のきまり」・「生活のきまり」の徹底を各種研修において周知
- ☐ 学習に課題を抱える生徒（特に平均正答数以下の生徒）の「個別の指導計画」や「学習状況個人カルテ」の作成と活用
- ☐ ICT（AIドリル）等を活用した個に応じた指導による低学力層の底上げ
- ☐ 本町が推進している協調学習による授業改善に向け、指導主事を派遣しての授業づくり支援を全ての教科で実施

【 九 重 町 】

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：理科）

1 調査結果の分析

中学校：理科

教科の IRT スコアが全国平均と比較して、+34 ポイントであった。

また、IRT バンド分布では、3 が最も高く全体の 60%を占めており、全国・県平均よりも高い。また、1 評価は 0%となっていることから、中間層以上の生徒が多い傾向が分かる。

問題総数に占める無解答数の割合が、4.0%となっており、全国・県よりも低い。

2 具体的な改善方策

中学校：理科

教科の結果は良好ではあるが、課題分析に基づく検証改善に向け、以下の指導支援を行う。

- ☐ ここのえ学園基本計画に基づく「学習のきまり」・「生活のきまり」の徹底を各種研修において周知
- ☐ 学習に課題を抱える生徒（特に平均正答数以下の生徒）の「個別の指導計画」や「学習状況個人カルテ」の作成と活用
- ☐ ICT（AI ドリル）等を活用した個に応じた指導による低学力層の底上げ
- ☐ 本町が推進している協調学習による授業改善に向け、指導主事を派遣しての授業づくり支援を全ての教科で実施